

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	2015年3月20日から2025年3月14日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米国の取引所に上場（上場予定を含みます。）している不動産投資信託または不動産投資法人が発行する優先証券に実質的に投資します。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）およびマネー・リクイディティ・マザーファンドを主要投資対象とします。
	NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	NB・OAM優先リート・マザーファンドへの投資を通じて、米国の金融商品取引所等（これに準じるものを含みます。）に上場している不動産投資信託および不動産投資法人が発行する優先リートを主要投資対象とします。また、普通リートにも投資することがあります。
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マネー・リクイディティ・マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

米国優先リートオープン （毎月決算型）（為替ヘッジなし）

第91期（決算日 2022年10月17日） 第94期（決算日 2023年1月16日）
第92期（決算日 2022年11月15日） 第95期（決算日 2023年2月15日）
第93期（決算日 2022年12月15日） 第96期（決算日 2023年3月15日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「米国優先リートオープン（毎月決算型）（為替ヘッジなし）」は、2023年3月15日に第96期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第91期～第96期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			ICE BofA REIT Preferred Securities Index (円換算後)		債券組入比率	投資信託証券比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
67期(2020年10月15日)	7,164	30	0.5	55,150.661	0.9	0.7	98.4	2,029
68期(2020年11月16日)	7,199	30	0.9	54,385.094	△1.4	0.4	98.0	2,025
69期(2020年12月15日)	7,300	30	1.8	54,974.319	1.1	0.6	97.7	2,076
70期(2021年1月15日)	7,255	30	△0.2	53,742.080	△2.2	0.6	97.6	2,055
71期(2021年2月15日)	7,385	30	2.2	54,557.175	1.5	0.6	98.1	2,076
72期(2021年3月15日)	7,671	30	4.3	56,715.017	4.0	0.6	99.1	2,116
73期(2021年4月15日)	7,811	30	2.2	58,384.800	2.9	0.6	98.1	2,126
74期(2021年5月17日)	7,785	30	0.1	57,921.268	△0.8	0.7	98.1	2,061
75期(2021年6月15日)	7,923	30	2.2	59,136.557	2.1	0.6	98.7	2,071
76期(2021年7月15日)	7,876	30	△0.2	59,335.377	0.3	0.7	98.4	1,892
77期(2021年8月16日)	7,835	30	△0.1	59,216.985	△0.2	0.7	98.3	1,856
78期(2021年9月15日)	7,790	30	△0.2	59,392.909	0.3	0.8	98.4	1,735
79期(2021年10月15日)	8,086	30	4.2	61,265.417	3.2	0.8	98.5	1,736
80期(2021年11月15日)	7,966	30	△1.1	60,346.128	△1.5	0.6	99.1	1,511
81期(2021年12月15日)	7,862	30	△0.9	60,154.908	△0.3	0.8	98.3	1,465
82期(2022年1月17日)	7,978	30	1.9	60,627.527	0.8	0.8	98.9	1,422
83期(2022年2月15日)	7,566	30	△4.8	54,621.707	△9.9	1.0	98.4	1,330
84期(2022年3月15日)	7,588	30	0.7	54,972.888	0.6	1.0	98.4	1,313
85期(2022年4月15日)	8,084	30	6.9	58,880.964	7.1	0.8	97.3	1,385
86期(2022年5月16日)	7,809	30	△3.0	56,113.817	△4.7	0.4	98.0	1,352
87期(2022年6月15日)	7,827	30	0.6	58,180.669	3.7	0.4	97.7	1,283
88期(2022年7月15日)	8,360	30	7.2	62,968.858	8.2	0.4	99.1	1,319
89期(2022年8月15日)	8,501	30	2.0	64,298.973	2.1	0.4	97.4	1,271
90期(2022年9月15日)	8,445	30	△0.3	62,640.727	△2.6	0.5	98.2	1,232
91期(2022年10月17日)	7,910	30	△6.0	58,325.710	△6.9	0.3	98.3	1,123
92期(2022年11月15日)	7,631	30	△3.1	57,012.498	△2.3	0.2	97.9	1,099
93期(2022年12月15日)	7,357	30	△3.2	55,570.103	△2.5	0.3	98.2	1,052
94期(2023年1月16日)	7,203	30	△1.7	55,087.725	△0.9	0.3	98.6	1,026
95期(2023年2月15日)	7,841	30	9.3	58,136.259	5.5	0.2	98.2	1,150
96期(2023年3月15日)	7,221	30	△7.5	55,881.031	△3.9	0.3	97.2	1,109

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) ICE BofA REIT Preferred Securities Index (円換算後)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。ICE BofA REIT Preferred Securities Index (円換算後)は、Bloombergのデータを基に当社が独自に算出しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		ICE BofA REIT Preferred Securities Index	Preferred Securities Index (円換算後)	債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第91期	(期 首) 2022年9月15日	円 8,445	% —	ポイント 62,640.727	% —	% 0.5	% 98.2
	9月末	7,953	△5.8	58,955.047	△5.9	0.3	98.3
	(期 末) 2022年10月17日	7,940	△6.0	58,325.710	△6.9	0.3	98.3
第92期	(期 首) 2022年10月17日	7,910	—	58,325.710	—	0.3	98.3
	10月末	7,662	△3.1	56,474.161	△3.2	0.3	97.3
	(期 末) 2022年11月15日	7,661	△3.1	57,012.498	△2.3	0.2	97.9
第93期	(期 首) 2022年11月15日	7,631	—	57,012.498	—	0.2	97.9
	11月末	7,432	△2.6	56,081.122	△1.6	0.2	97.9
	(期 末) 2022年12月15日	7,387	△3.2	55,570.103	△2.5	0.3	98.2
第94期	(期 首) 2022年12月15日	7,357	—	55,570.103	—	0.3	98.2
	12月末	7,036	△4.4	52,430.964	△5.6	0.3	98.2
	(期 末) 2023年1月16日	7,233	△1.7	55,087.725	△0.9	0.3	98.6
第95期	(期 首) 2023年1月16日	7,203	—	55,087.725	—	0.3	98.6
	1月末	7,730	7.3	58,289.951	5.8	0.2	97.6
	(期 末) 2023年2月15日	7,871	9.3	58,136.259	5.5	0.2	98.2
第96期	(期 首) 2023年2月15日	7,841	—	58,136.259	—	0.2	98.2
	2月末	7,713	△1.6	58,435.401	0.5	0.2	97.5
	(期 末) 2023年3月15日	7,251	△7.5	55,881.031	△3.9	0.3	97.2

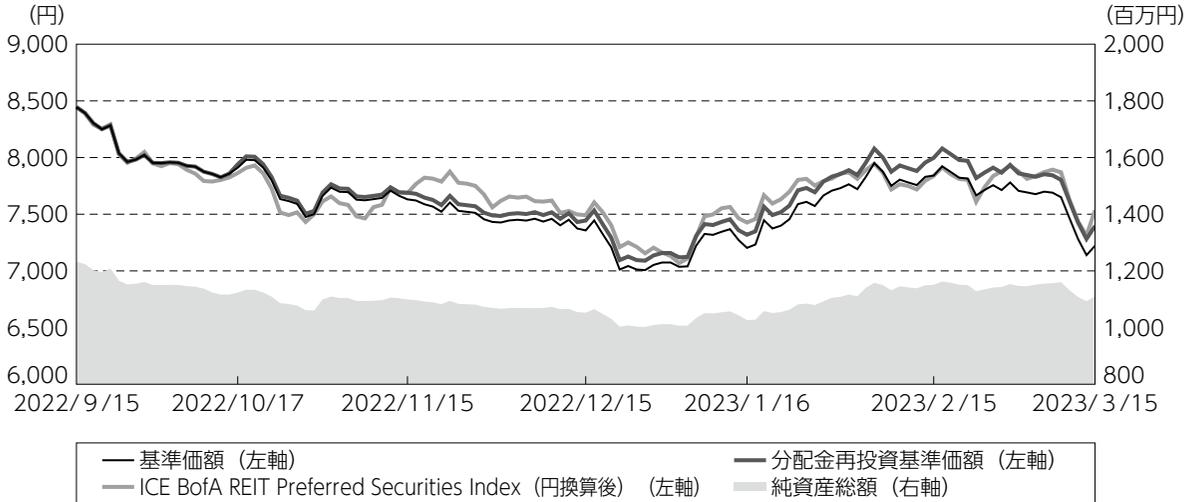
(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

ICE BofA REIT Preferred Securities Indexは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（「ICE Data」）及び/又はその第三者サプライヤーの財産であり、岡三アセットマネジメント株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2022年9月16日～2023年3月15日）



第91期首：8,445円
 第96期末：7,221円（既払分配金（税引前）：180円）
 騰落率：△12.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ICE BofA REIT Preferred Securities Index（円換算後）です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2022年9月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・米国優先リーートの安定的なインカムゲインがプラスに寄与しました。
- ・ショッピング・センターセクターのシーダー・リアルティ・トラスト（シリーズC）やモール型商業施設セクターのサイモン・プロパティー・グループ（普通リート）などが上昇したことがプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・オフィスセクターのボルネード・リアルティ・トラスト（シリーズL）やショッピング・センターセクターのキムコ・リアルティ（シリーズM）などが下落したことがマイナスに影響しました。
- ・為替市場において、対米ドルで円高となったことから、為替要因はマイナスに影響しました。

投資環境

（2022年9月16日～2023年3月15日）

米国優先リート市場は、作成期初から2022年10月下旬にかけては、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が強いタカ派姿勢を示し、急速な利上げによる長期金利上昇への警戒感が強まったことなどから、下落しました。その後は、FRBが利上げ幅縮小を議論するとの報道や、FRB議長が利上げ幅縮小の可能性に言及したことなどを受けて、長期金利が低下したため、優先リートの利回りに着目したと見られる買いが優勢となり、反発しました。12月に入ると、景気悪化への懸念が強まり、上値が抑えられましたが、2023年1月に入ってからは、経済指標が下振れしたことから、FRBが早期に利上げを停止するとの期待が高まったほか、主要リートの好決算などが材料視され、戻りを試す展開となりました。2月以降は、物価指標でインフレ圧力の根強さが確認され、早期利上げ停止観測が後退したほか、中堅銀行シリコンバレーバンク（SVB）が経営破綻したことなどから、金融システムへの不安が強まり、軟調な展開となりました。

国内短期金融市場は、日銀が2022年12月の金融政策決定会合において金融緩和政策の一部修正を行ったことから、1年国債利回りが一時プラス圏に上昇する場面が見られました。しかし、2023年1月の金融政策決定会合では、マイナス金利を含む金融緩和政策の継続を決定したことから、1年国債利回りは再度マイナス圏へ低下しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2022年9月16日～2023年3月15日）

<米国優先リートオープン（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

「NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」を概ね97%以上で組入れ、「マネー・リクイディティ・マザーファンド」とあわせ、高位の組入れを維持しました。

○NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

NB・OAM優先リート・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の取引所に上場している不動産投資信託または不動産投資法人が発行する優先証券に投資し、安定的な収益と投資元本の保全を目指して運用を行いました。また、米国優先リートの組入れを高位で維持する一方、ポートフォリオの流動性と分散効果を考慮し、普通リートを一部組み入れました。

実質組入外貨建資産については、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いませんでした。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

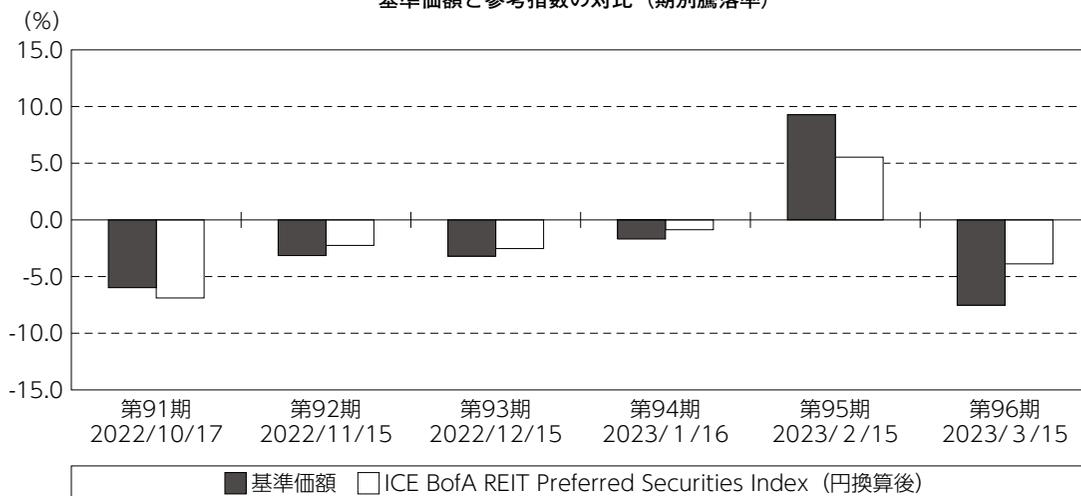
わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行い、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年9月16日～2023年3月15日）

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているICE BofA REIT Preferred Securities Index（円換算後）の騰落率を1.6%下回りました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、ICE BofA REIT Preferred Securities Index（円換算後）です。

分配金

（2022年9月16日～2023年3月15日）

当ファンドは、毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象収益の範囲として分配を行います。

分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。

当作成期間につきましては、主に配当等収益と売買益等を原資とし、第91期から第96期において1万口当たり30円（税引前）、合計180円の分配を行いました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2022年9月16日～ 2022年10月17日	2022年10月18日～ 2022年11月15日	2022年11月16日～ 2022年12月15日	2022年12月16日～ 2023年1月16日	2023年1月17日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年3月15日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.378%	0.392%	0.406%	0.415%	0.381%	0.414%
当期の収益	27	28	28	28	30	27
当期の収益以外	2	1	1	2	—	2
翌期繰越分配対象額	581	579	578	576	580	579

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境）

○NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

米国優先リート市場につきましては、不安定な展開が予想されます。金融引き締め長期化に伴う金融システムの不安定化や景気の先行きに対する警戒感が変動性を高める要因になると考えられます。また、信用不安を背景に金融機関が融資姿勢を厳格化する場合、不動産価格の下落リスクに注意する必要があります。ただ、信用不安や景気への懸念を受けて、長期金利の上昇圧力は弱まると考えられます。そのため、長期金利の動きが落ち着くに連れて、利回り面での投資の魅力が背景に優先リート市場への資金流入が見込まれます。さらに、リートのディフェンシブ性やインフレへの耐性等を背景とした、リートの業績への期待も支援材料になると考えられます。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

（運用方針）

<米国優先リートオープン（毎月決算型）（為替ヘッジなし）>

「NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」の組入比率を高位に保つことを基本とします。

○NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

NB・OAM優先リート・マザーファンドへの投資を通じて、主として米国の取引所に上場している不動産投資信託または不動産投資法人が発行する優先証券に投資し、安定的な収益と投資元本の保全を目指して運用を行っていく方針です。投資にあたっては、トップダウン分析、セクター・地域分析、ボトムアップ分析をもとに銘柄の選定を行い、個別銘柄の分析においては、経営陣の質や保有資産の価値、財務諸表の健全性、収益力などを基に銘柄の魅力度を総合的に判断して運用を行っていく方針です。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わない方針です。また、米国の経済環境や不動産市場、金融政策の動向などに留意し、優先リートを高位に組み入れて運用する方針です。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年9月16日～2023年3月15日）

項 目	第91期～第96期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	43 (17) (25) (1)	0.562 (0.218) (0.327) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	— (—)	— (—)	(b) 売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均 受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	— (—)	— (—)	(c) 有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均 受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (監査費用) (その他)	1 (0) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(d) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	44	0.569	
作成期間中の平均基準価額は、7,587円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

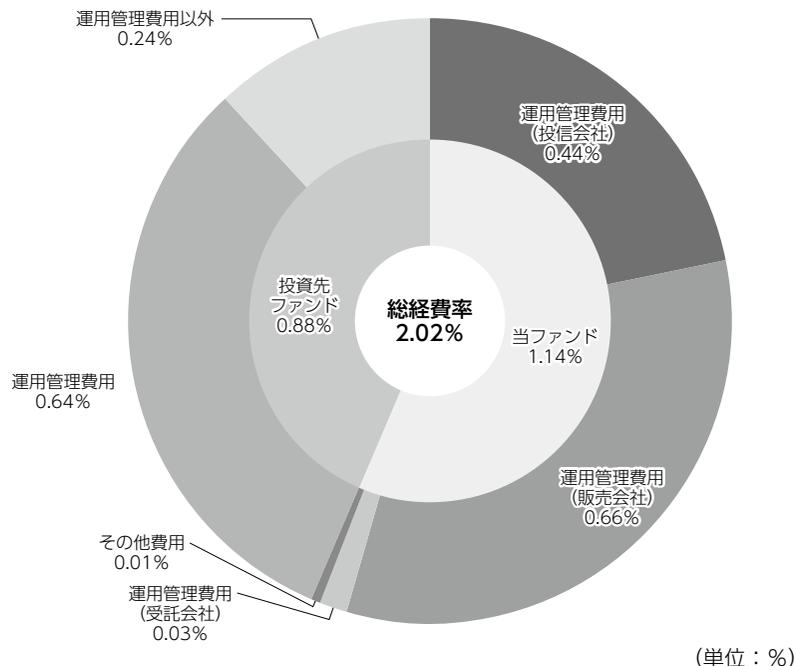
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.02%です。



総経費率 (①+②+③)	2.02
①当ファンドの費用の比率	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.24

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年9月16日～2023年3月15日)

投資信託証券

銘柄		第 91 期 ～ 第 96 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	NB・OAM優先リートファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	99,645,535	85,500	42,766,493	37,200
合 計		99,645,535	85,500	42,766,493	37,200

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未满是切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第 91 期 ～ 第 96 期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 3,501	千円 3,500

(注) 単位未满是切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年9月16日～2023年3月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年3月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第 90 期 末	第 96 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
	NB・OAM優先リートファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	1,285,014,924	1,341,893,966	1,079,016	97.2
合 計		1,285,014,924	1,341,893,966	1,079,016	97.2

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨て。

親投資信託残高

銘柄		第 90 期 末	第 96 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	千口 6,944	千口 3,442	千円 3,440

(注) 口数・評価額の単位未满是切捨て。

○投資信託財産の構成

（2023年3月15日現在）

項 目	第 96 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	1,079,016	96.7
マ ネ ー ・ リ ク イ デ ィ テ ィ ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	3,440	0.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	33,112	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,115,568	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末
	2022年10月17日現在	2022年11月15日現在	2022年12月15日現在	2023年1月16日現在	2023年2月15日現在	2023年3月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,147,836,885	1,104,363,989	1,063,441,234	1,038,761,214	1,156,243,768	1,115,568,872
コール・ローン等	32,417,141	25,317,958	23,596,979	23,619,690	22,501,435	33,111,286
投資信託受益証券（評価額）	1,104,478,408	1,075,604,695	1,033,403,263	1,011,700,532	1,130,301,685	1,079,016,938
マネー・リクイディティ・マザーファンド（評価額）	3,441,336	3,441,336	3,440,992	3,440,992	3,440,648	3,440,648
未収入金	7,500,000	—	3,000,000	—	—	—
(B) 負債	24,226,150	5,321,488	11,023,740	12,424,214	5,441,681	5,616,033
未払収益分配金	4,261,459	4,320,925	4,291,767	4,274,798	4,403,024	4,611,253
未払解約金	18,791,968	—	5,716,604	7,114,598	—	—
未払信託報酬	1,159,154	988,958	1,003,615	1,022,824	1,026,613	993,119
未払利息	43	32	27	29	23	33
その他未払費用	13,526	11,573	11,727	11,965	12,021	11,628
(C) 純資産総額（A－B）	1,123,610,735	1,099,042,501	1,052,417,494	1,026,337,000	1,150,802,087	1,109,952,839
元本	1,420,486,491	1,440,308,628	1,430,589,307	1,424,932,749	1,467,674,842	1,537,084,377
次期繰越損益金	△ 296,875,756	△ 341,266,127	△ 378,171,813	△ 398,595,749	△ 316,872,755	△ 427,131,538
(D) 受益権総口数	1,420,486,491口	1,440,308,628口	1,430,589,307口	1,424,932,749口	1,467,674,842口	1,537,084,377口
1万口当たり基準価額（C/D）	7,910円	7,631円	7,357円	7,203円	7,841円	7,221円

（注）純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第91期296,875,756円、第92期341,266,127円、第93期378,171,813円、第94期398,595,749円、第95期316,872,755円、第96期427,131,538円です。

（注）計算期間末における1口当たりの純資産額は、第91期0.7910円、第92期0.7631円、第93期0.7357円、第94期0.7203円、第95期0.7841円、第96期0.7221円です。

（注）当ファンドの第91期首元本額は1,458,996,036円、第91～96期中追加設定元本額は184,224,836円、第91～96期中一部解約元本額は106,136,495円です。

○損益の状況

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2022年9月16日～ 2022年10月17日	2022年10月18日～ 2022年11月15日	2022年11月16日～ 2022年12月15日	2022年12月16日～ 2023年1月16日	2023年1月17日～ 2023年2月15日	2023年2月16日～ 2023年3月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	5,040,551	5,060,980	5,042,499	5,023,218	5,128,322	5,284,614
受取配当金	5,041,345	5,061,669	5,043,274	5,023,892	5,129,011	5,285,051
受取利息	—	—	—	—	9	37
支払利息	△ 794	△ 689	△ 775	△ 674	△ 698	△ 474
(B) 有価証券売買損益	△ 75,315,988	△ 39,038,054	△ 38,873,026	△ 21,593,023	91,319,100	△ 93,270,231
売買益	2,089,371	334,134	326,099	109,573	91,600,884	20,982
売買損	△ 77,405,359	△ 39,372,188	△ 39,199,125	△ 21,702,596	△ 281,784	△ 93,291,213
(C) 信託報酬等	△ 1,172,727	△ 1,000,564	△ 1,015,389	△ 1,034,837	△ 1,038,688	△ 1,004,783
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 71,448,164	△ 34,977,638	△ 34,845,916	△ 17,604,642	95,408,734	△ 88,990,400
(E) 前期繰越損益金	6,099,406	△ 69,172,892	△ 107,262,003	△ 145,382,895	△ 166,072,948	△ 74,912,437
(F) 追加信託差損益金	△ 227,265,539	△ 232,794,672	△ 231,772,127	△ 231,333,414	△ 241,805,517	△ 258,617,448
(配当等相当額)	(65,424,763)	(66,697,117)	(66,316,329)	(66,101,351)	(68,702,489)	(72,864,701)
(売買損益相当額)	(△292,690,302)	(△299,491,789)	(△298,088,456)	(△297,434,765)	(△310,508,006)	(△331,482,149)
(G) 計(D+E+F)	△ 292,614,297	△ 336,945,202	△ 373,880,046	△ 394,320,951	△ 312,469,731	△ 422,520,285
(H) 収益分配金	△ 4,261,459	△ 4,320,925	△ 4,291,767	△ 4,274,798	△ 4,403,024	△ 4,611,253
次期繰越損益金(G+H)	△ 296,875,756	△ 341,266,127	△ 378,171,813	△ 398,595,749	△ 316,872,755	△ 427,131,538
追加信託差損益金	△ 227,265,539	△ 232,794,672	△ 231,772,127	△ 231,333,414	△ 241,805,517	△ 258,617,448
(配当等相当額)	(65,424,772)	(66,697,134)	(66,316,332)	(66,101,353)	(68,702,509)	(72,864,739)
(売買損益相当額)	(△292,690,311)	(△299,491,806)	(△298,088,459)	(△297,434,767)	(△310,508,026)	(△331,482,187)
分配準備積立金	17,137,528	16,794,648	16,379,307	15,998,606	16,568,535	16,211,765
繰越損益金	△ 86,747,745	△ 125,266,103	△ 162,778,993	△ 183,260,941	△ 91,635,773	△ 184,725,855

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
(a) 配当等収益(費用控除後)	3,870,425円	4,062,364円	4,028,664円	3,990,346円	5,074,584円	4,281,578円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	65,424,772円	66,697,134円	66,316,332円	66,101,353円	68,702,509円	72,864,739円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	17,528,562円	17,053,209円	16,642,410円	16,283,058円	15,896,975円	16,541,440円
分配対象収益(a+b+c+d)	86,823,759円	87,812,707円	86,987,406円	86,374,757円	89,674,068円	93,687,757円
分配対象収益(1万口当たり)	611円	609円	608円	606円	610円	609円
分配金額	4,261,459円	4,320,925円	4,291,767円	4,274,798円	4,403,024円	4,611,253円
分配金額(1万口当たり)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
1 万口当たり分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2023年3月15日現在）

<マネー・リクイディティ・マザーファンド>

下記は、マネー・リクイディティ・マザーファンド全体（314,111千円）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区分	第 96 期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特殊債券 （除く金融債）	277,000 (277,000)	277,845 (277,845)	88.5 (88.5)	— (—)	— (—)	— (—)	88.5 (88.5)
合計	277,000 (277,000)	277,845 (277,845)	88.5 (88.5)	— (—)	— (—)	— (—)	88.5 (88.5)

(注) ()内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘柄	第 96 期			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
特殊債券(除く金融債)	%	千円	千円	
第2回政府保証新関西国際空港債券	0.882	50,000	50,133	2023/6/27
第190回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.605	80,000	80,107	2023/5/31
第195回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.911	50,000	50,180	2023/7/31
第204回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.669	47,000	47,243	2023/11/30
第51回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.835	50,000	50,180	2023/8/14
合計		277,000	277,845	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

〈参考情報〉

NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

〈当ファンドの仕組みは次の通りです〉

運用会社	ニューバーガー・バーマン株式会社
主な投資対象	NB・OAM優先リート・マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を主要投資対象とします。
運用方針	この投資信託は、マザーファンドへの投資を通じて、実質的に主に米国優先リートから構成されるポートフォリオを構築し、安定したインカムゲインの確保による信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
為替ヘッジ	実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要な投資制限	①マザーファンドの受益証券の投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産の実質投資割合には制限を設けません。 ③外貨建資産への直接投資は行いません。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。

NB・OAM優先リートファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

〇損益の状況

項 目	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期
	2022年9月9日～ 2022年10月11日	2022年10月12日～ 2022年11月8日	2022年11月9日～ 2022年12月8日	2022年12月9日～ 2023年1月10日	2023年1月11日～ 2023年2月8日	2023年2月9日～ 2023年3月8日
(A) 有価証券売買損益	△ 98,557,653	△ 29,703,860	△ 21,100,517	△ 10,728,176	67,427,403	△ 2,882,246
売買益	467,341	54,882	—	7,396	67,527,463	—
売買損	△ 99,024,994	△ 29,758,742	△ 21,100,517	△ 10,735,572	△ 100,060	△ 2,882,246
(B) 信託報酬等	△ 876,925	△ 698,019	△ 729,696	△ 768,951	△ 695,924	△ 714,531
(C) 当期損益金(A+B)	△ 99,434,578	△ 30,401,879	△ 21,830,213	△ 11,497,127	66,731,479	△ 3,596,777
(D) 前期繰越損益金	29,534,715	△ 73,748,048	△ 109,211,596	△ 135,712,993	△ 151,369,328	△ 89,769,648
(E) 追加信託差損益金	△ 85,875,703	△ 86,124,289	△ 86,124,289	△ 85,877,196	△ 88,898,253	△ 94,211,141
(配当等相当額)	(14,175,115)	(14,432,899)	(14,434,600)	(14,393,187)	(15,441,927)	(16,866,672)
(売買損益相当額)	(△100,050,818)	(△100,557,188)	(△100,558,889)	(△100,270,383)	(△104,340,180)	(△111,077,813)
(F) 計(C+D+E)	△ 155,775,566	△ 190,274,216	△ 217,166,098	△ 233,087,316	△ 173,536,102	△ 187,577,566
(G) 収益分配金	△ 5,097,897	△ 5,061,669	△ 5,061,669	△ 5,047,146	△ 5,131,799	△ 5,285,051
次期繰越損益金(F+G)	△ 160,873,463	△ 195,335,885	△ 222,227,767	△ 238,134,462	△ 178,667,901	△ 192,862,617
追加信託差損益金	△ 85,875,703	△ 86,124,289	△ 86,124,289	△ 85,877,196	△ 88,898,253	△ 94,211,141
(配当等相当額)	(14,175,115)	(14,434,600)	(14,434,600)	(14,393,187)	(15,445,451)	(16,894,958)
(売買損益相当額)	(△100,050,818)	(△100,558,889)	(△100,558,889)	(△100,270,383)	(△104,343,704)	(△111,106,099)
分配準備積立金	37,513,650	33,101,651	29,091,008	35,715,898	32,144,831	28,618,664
繰越損益金	△ 112,511,410	△ 142,313,247	△ 165,194,486	△ 187,973,164	△ 121,914,479	△ 127,270,140

〇組入資産の明細

(2023年3月8日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第 69 期 末	第 75 期 末
		口 数	口 数 評 価 額
NB・OAM優先リート・マザーファンド		千口 934,814	千口 918,462 千円 1,134,760

<参考情報>

NB・OAM優先リート・マザーファンド

<当ファンドの仕組みは次の通りです>

運用会社	ニューバーガー・バーマン株式会社
主な投資対象	米国の金融商品取引所等（これに準じるものを含みます。）に上場（上場予定を含みます。）している不動産投資信託及び不動産投資法人が発行する優先リートを主要投資対象とします。また、普通リートにも投資することがあります。
運用方針	この投資信託は、主に米国優先リートから構成されるポートフォリオを構築し、安定したインカムゲインの確保による信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
投資態度	<p>外貨建資産の運用の指図に係る権限をニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーに委託します。</p> <p>①主として米国の金融商品取引所に上場している優先リートへの投資を通じ、安定したインカムリターン確保による中期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。また、普通リートにも投資することがあります。</p> <p>②優先リートおよび普通リートへの投資割合は、原則として高位を維持します。</p> <p>③組入外貨建資産に対する為替ヘッジは、原則として行いません。</p> <p>④資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等並びに投資信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。</p>
主な投資制限	外貨建資産の投資割合には制限を設けません。

NB・OAM優先リート・マザーファンド

○損益の状況 (2021年12月9日～2022年12月8日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	85,592,139
受取配当金	85,196,280
受取利息	347,064
その他収益金	48,795
(B) 有価証券売買損益	△ 58,045,359
売買益	302,737,533
売買損	△360,782,892
(C) 信託報酬等	△ 906,574
(D) 当期損益金(A+B+C)	26,640,206
(E) 前期繰越損益金	299,761,162
(F) 追加信託差損益金	32,664,514
(G) 解約差損益金	△190,915,076
(H) 計(D+E+F+G)	168,150,806
次期繰越損益金(H)	168,150,806

○組入資産の明細

(2022年12月8日現在)

外国投資信託証券

銘柄	当期末			
	口数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
AGREE REALTY CORP	9,000	154	21,079	1.9
NECESSITY RETAIL REIT IN	9,736	197	27,018	2.4
AMERICAN HOMES 4 RENT AMH 5 7/8 PER	14,904	348	47,527	4.2
ARMADA HOFFLER PROPERTIE	10,600	222	30,386	2.7
CEDAR REALTY TRUST INC	7,443	83	11,466	1.0
DIAMONDROCK HOSPITALITY	7,400	182	24,975	2.2
DIGITAL REALTY TRUST INC	9,650	204	27,899	2.5
DIGITAL REALTY TRUST INC	9,000	210	28,761	2.5
DIGITAL REALTY TRUST INC	13,348	290	39,703	3.5
FEDERAL REALTY INVESTMENT	4,140	86	11,850	1.0
GLADSTONE LAND CORP	4,100	102	14,060	1.2
GLOBAL NET LEASE INC	1,500	33	4,543	0.4
Hersha Hospitality Trust 6 7/8 % Cum Red	8,886	191	26,133	2.3
Hersha Hospitality Trust	17,013	341	46,613	4.1
HUDSON PACIFIC PROPERTIE	6,062	80	10,994	1.0
IRON MOUNTAIN INCORPORATED REIT NEW	1,412	76	10,496	0.9
Kimco Realty Corporation	2,569	56	7,715	0.7
KIMCO RLTY CORP PFD RED CL-M	12,736	277	37,865	3.3
KIMCO REALTY CORP	1,958	41	5,714	0.5
Omega Healthcare Investors, Inc.	2,184	63	8,721	0.8
PS BUSINESS PARKS INC PSB 5.2 PERP	3,768	58	8,032	0.7
PEBBLEBROOK HOTEL TR (PFD) 6.375	14,589	266	36,381	3.2
PEBBLEBROOK HOTEL TR (PFD) 6.3	9,134	167	22,902	2.0
PEBBLEBROOK HOTEL TRUST	3,800	70	9,569	0.8
PEBBLEBROOK HOTEL TRUST	2,000	33	4,605	0.4
PUBLIC STORAGE	6,250	110	15,090	1.3
PUBLIC STORAGE	1,500	25	3,521	0.3
PUBLIC STORAGE	8,000	167	22,901	2.0
PUBLIC STORAGE	9,100	195	26,695	2.3
PUBLIC STORAGE PSA 5.05 12/31/49	12,188	274	37,534	3.3
REXFORD INDUSTRIAL REALT REXR 5 7/8	3,750	84	11,569	1.0
REXFORD INDUSTRIAL REALT	8,900	187	25,555	2.2
SAUL CENTERS INC	4,400	86	11,855	1.0
SAUL CENTERS INC	14,040	271	37,131	3.3
Simon Property Group, Inc.	550	65	8,942	0.8
SITE CENTERS CORP (PFD) SERIES A	2,735	59	8,112	0.7
SPIRIT REALTY CAPITAL IN	17,450	402	54,925	4.8
SPIRIT REALTY CAPITAL INC	1,500	61	8,446	0.7
STAG Industrial, Inc.	1,654	53	7,361	0.6

NB・OAM優先リート・マザーファンド

銘 柄	当 期 末			比 率
	口 数	評 価 額		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
SUMMIT HOTEL PROPERTIES	11,600	210	28,753	2.5
SUMMIT HOTEL PROPERTIES	15,609	274	37,518	3.3
SUNSTONE HOTEL INVESTORS	10,350	187	25,584	2.2
URSTADT BIDDLE PROPERTIE	9,750	190	25,952	2.3
URSTADT BIDDLE PROPERTIE	23,128	483	66,035	5.8
Ventas, Inc.	1,229	53	7,354	0.6
VICI PROPERTIES INC	1,784	60	8,218	0.7
VORNADO REALTY TRUST	16,297	239	32,717	2.9
VORNADO REALTY TRUST	2,300	38	5,311	0.5
VORNADO REALTY TRUST VNO 0 PERP	5,783	96	13,126	1.2
Vornado Realty Trust L	17,113	289	39,473	3.5
合 計	口 数 ・ 金 額	393,892	8,015	1,094,709
	銘 柄 数 < 比 率 >	50	-	< 96.2% >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別投資信託証券評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

マナー・リクイディティ・マザーファンド

第12期 運用状況のご報告

決算日：2022年7月19日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価 額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期 中	騰 落 率			
	円		%	%	%	百万円
8期(2018年7月17日)	10,025		△0.1	64.8	—	155
9期(2019年7月17日)	10,018		△0.1	68.7	—	146
10期(2020年7月17日)	10,010		△0.1	94.6	—	142
11期(2021年7月19日)	10,004		△0.1	98.5	—	142
12期(2022年7月19日)	9,998		△0.1	80.0	—	329

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

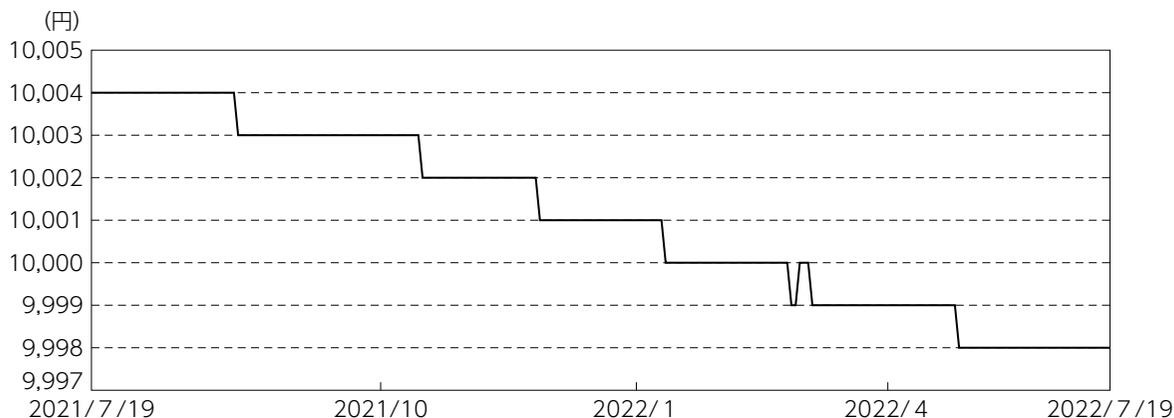
年 月 日	基 準	価 額		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落	率		
(期首)	円		%	%	%
2021年7月19日	10,004		—	98.5	—
7月末	10,004		0.0	98.5	—
8月末	10,004		0.0	98.1	—
9月末	10,003		△0.0	98.0	—
10月末	10,003		△0.0	76.2	—
11月末	10,002		△0.0	69.8	—
12月末	10,001		△0.0	79.8	—
2022年1月末	10,001		△0.0	78.0	—
2月末	10,000		△0.0	77.8	—
3月末	10,000		△0.0	83.6	—
4月末	9,999		△0.0	80.8	—
5月末	9,998		△0.1	80.8	—
6月末	9,998		△0.1	80.1	—
(期末)					
2022年7月19日	9,998		△0.1	80.0	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額の推移

(2021年7月20日～2022年7月19日)



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- ・日銀のマイナス金利政策の影響により、市中金利がマイナス圏で推移したことが、マイナスに影響しました。

投資環境

(2021年7月20日～2022年7月19日)

短期金融市場では、日銀がマイナス金利政策を継続していることから、1年国債利回りは-0.10%を中心に小幅なレンジで推移する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年7月20日～2022年7月19日)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年7月20日～2022年7月19日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

国内短期金融市場は、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移となり、今後も厳しい運用環境が続くと予想されます。

(運用方針)

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2021年7月20日～2022年7月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.001 (0.001)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、10,001円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月20日～2022年7月19日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	特殊債券	千円 264,791	千円 — (140,000)

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) () 内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月20日～2022年7月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年7月19日現在)

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区分	当 期			末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特殊債券 (除く金融債)	263,000 (263,000)	263,742 (263,742)	80.0 (80.0)	— (—)	— (—)	— (—)	80.0 (80.0)
合計	263,000 (263,000)	263,742 (263,742)	80.0 (80.0)	— (—)	— (—)	— (—)	80.0 (80.0)

(注) () 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期			末
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
特殊債券（除く金融債）	%	千円	千円	
第175回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.791	50,000	50,118	2022/10/31
第180回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.734	50,000	50,173	2022/12/28
第182回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.834	50,000	50,244	2023/1/31
第39回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.801	50,000	50,032	2022/8/15
第40回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.819	3,000	3,004	2022/9/16
第41回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.791	4,000	4,007	2022/10/18
第42回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.805	56,000	56,160	2022/11/14
合計		263,000	263,742	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年7月19日現在)

項目	当 期		末
	評価額	比	率
公 社 債	千円 263,742		% 80.0
コーポレートローン等、その他	65,851		20.0
投資信託財産総額	329,593		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	329,593,989
コール・ローン等	64,994,698
公社債(評価額)	263,742,068
未収利息	655,218
前払費用	202,005
(B) 負債	424
未払利息	76
その他未払費用	348
(C) 純資産総額(A-B)	329,593,565
元本	329,672,325
次期繰越損益金	△ 78,760
(D) 受益権総口数	329,672,325口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,998円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は78,760円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、0.9998円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は142,536,794円、期中追加設定元本額は197,772,028円、期中一部解約元本額は10,636,497円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

米国ネクストビジョンファンド (為替ヘッジなし)	178,323,863円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) ユーロコース	94,638,188円
欧州ハイ・イールド債券オープン (毎月決算型) 円コース	26,700,315円
米国ネクストビジョンファンド (為替ヘッジあり)	8,748,406円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) ユーロコース	7,068,611円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	6,944,115円
ESG海洋関連株式ファンド (愛称「海」)	3,400,442円
欧州ハイ・イールド債券オープン (1年決算型) 円コース	3,203,311円
米国優先リートオープン (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	645,074円

○損益の状況 (2021年7月20日～2022年7月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,350,519
受取利息	1,360,337
支払利息	△ 9,818
(B) 有価証券売買損益	△1,510,154
売買損	△1,510,154
(C) その他費用等	△ 3,610
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 163,245
(E) 前期繰越損益金	58,821
(F) 追加信託差損益金	25,792
(G) 解約差損益金	△ 128
(H) 計(D+E+F+G)	△ 78,760
次期繰越損益金(H)	△ 78,760

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はございません。